

(議長)

農業委員会、農林水産課所管の予算並びに関連議案について一括して補足説明を求めます。「農林水産課長」

「農林水産課長」(補足説明)

(議長)

以上で説明が終わりましたので、一括質疑を許します。質疑希望ありませんか。「小野寺議員」

「小野寺議員」

一つは港湾なのですが、町長の執行方針の中で港湾整備について、計画内容の分析と再検討が必要な時期に来ていると考えておりますという事で、まったく曖昧な要するにどういう事なのだと。今年見直しに入るのか入らないのか、まず先にそこをきちっとお聞きしたいんです。

それで色々な検討という事は沢山ありますけれども、この港湾計画は今日政策推進課でも論議しましたが、下町と言いますか、観光と言いますか、大きな部分の計画になると思いますので、まずどういう風に考えているのかをちょっとお聞きしたいと。それを聞いた上で再質問をと思っています。これが一つ。

それから町民の森、今課長の方から具体的に整備出ました。

それで去年も一般質問とかやり取りさせて頂きましたが、改めて言うまでもなく本当に江差町としては、大きな財産だと思うんです。あそこの町民の森。

あそこを利用するとすれば、その距離的なもの。その道路という事もあります。

そもそもその町民の森そのものがやはり今回の修理だけではなくて、これからどういう風にあそこを江差町の財産として、町民の森として、町民に使ってもらうかというデザイン、きちっと描かなかつたら私は駄目だと思うんですね。そこもちょっと教えて頂きたいのですが。今回の一定の予算づけを含めて、例えば一年間にこういうイベントだとか、こういう様な今までとは違った町民の森の活用を色々考えていると、働きかけているとか。そういう部分が有るのか無いのか。教えて頂きたいと思います。

(議長)

「農林水産課長」

「農林水産課長」

まず先に町民の森の方から説明をさせていただきます。

町民の森については、12月の議会の時にも色々という風な利用の仕方をしているのかという事で、ご質問を受けました。その中では学校関係の今の観察だとか、そういう部分でお答えをしたという事でございました。

町民の森そのものについては、町民が親しめる様な憩いの場として、今後周知していきたいという事でございます。

当然去年は、鏡池の周辺の柵の整備をしました。今年は24年度の予算については、テラスの部分を修繕するという事で、順次その環境整備を整っていった中で町民が親しめる、気軽に行って、家族で楽しめる様な環境作りをしていきたいという風に思っております。

それとイベント関係については、従来からやっている育樹だとか植樹だとか、それらの部分についても今後進めていきたいと思っております。それと、あそこの部分については、ロータリークラブの人達が栗とか沢山植えています。これらの部分についても、収穫は自由だと聞いていますので、そういう時期には何かでもって周知をしながら、決めていけるような事を考えていきたいと思っております。

それと港湾計画の見直しについてでございますけれども、御承知の通り、今の計画については、平成13年に策定されてございました。それからもう10年以上経過している訳でございますけれども、先程議員もおっしゃいましたが、町長の執行方針の中でも申し上げた通り、計画時の策定時に比べてですね、現在の状況はかなり変わってきているという状況です。というのは当然外来船も少なくなってきていますし、避難港の位置付けもされてはございますけれども、現況として避難の設置数も少ないという事でございます。

そんな中で港湾整備を今後どうするかという大きな課題ではございますけれども、当然あのエリアについては生活観光ゾーンと、エリアの整備計画の中で作ってございます。関係各課と十分協議をした中で、これから検討を進めていきたいという風に思っておりますので、御理解を頂きたいと思っております。

**(議長)**

「小野寺議員」

「小野寺議員」

今の最初の方からですが。

要はですね、これは江差町のであれば、江差町の方でよしわかった、いつから計画という事になるんでしょうけども。

なかなか明確に言えない部分は国の直轄事業と言いますか、開発建設部がど

うもっていくのか、利用している漁協等、関係も含めてというある程度一つで進めなきゃならないですね。最終的には。前回の計画もそうですけど。

それでそこら辺と、今どういうやり取りになっているのですか。今のこの認識というのは、国というか直接的には開発建設部でしょう。それから利用の漁協等で、同じ様な認識で見直しという事になっているのかどうかという事を、改めてお聞きしたいというのが1つ。

それから町民の森については、去年も課長とやり取りしました。

ちょっと視点を変えて、周知という事も必要ですね。周知。先程言った。なかなかわからないですね。無料で。いずれにしても周知を図るという事については、頑張って周知をしてもらうとして、やっぱり遠いんですね、あそこね。ですからお年寄りの方がですよ、簡単にあそこ行ける様な所ではないですよ。

(議長)

質問進ませて下さい。

「小野寺議員」

町長が反問権使ったかもしれない。あそこを本当にもっと気軽に行くとすればですね、色々なイベントの中で場合によっては送迎という事も含めてね、やらないとね、高齢者なんてあそこ行けないですよ。私何であんな所が町民の森なのかって言いたくなっちゃうんだけど、でも財産として作ったんですから。作ったからにはそういう方法論も含めて、やらなかったら町民の財産にならないと思うんですが。町長がそうでないと言うならそれで結構ですので、お聞きしたいと思います。

(議長)

「町長」

「町長」

港湾計画の部分からですね。先程担当課長の方から話した様に、港湾を利用する実態というのが変わってきているという事です。

且、開陽丸を含めた周辺のリニューアルを今後、絵には描けない今の状態ですけれども、今後親水地域として、やっぱりあの町民が親しめられる、そういう環境をこれから少しずつでも良いから、そういう方向に持っていくべきであるという風に思っております。

港湾の実態が変わってきてつつあるという背景は、さっきも言いました様に、外来船も少なくなってきている。避難港としても各地で港湾が整備されてきて

いるという状態からずっとですね。水揚げされる実態も、江差町の漁協もそう多くはなくなってきたという事からして、今の状態をずんずん進めていくと、どういう影響が出るかという、今やっている物揚げ場の先端が進んでいくとですね、巡視船が回航出来ない要素が出てくる訳です。巡視船があそこの回航出来ない要素が出てくるという事になると、あの場所を移さなきゃならない、巡視船は。そうすると巡視船に伴う、この設備。陸地の方で色々な設備がある、給湯設備から何から。全部あるんですが。その設備を町が持たなきゃならない。町がその設備を移動する場所に持たなきゃならない。こういう背景があるという事ですね。ですから、そういう事も含めて、トータルとして考えた場合に、これからの江差港のあり方というのはどうあるべきかという事を含めてね、考えるべきではないかという訳です。

今4月に私も25年の港湾計画のヒアリングもある訳ですが、その段階でもそういう事については、前々から少し話はしているんですが。開発局の方とはそういう話はさせてもらっていきたくと思っています。その結果で港湾計画そのものが今後どうなるかという事については、3月の末に港湾計画の進化たる訳です。うちの方です。うちの方の。その段階では私もちよっと出席を求められておりますので、それらの事も含めた意義への提言もさせてもらえればと思っておりました。

町民の森の事業の部分については、確かに距離が短くなる訳ではないんですよ。小野寺議員ね。それは私もよく理解しております。あそこの坂をどうするこうするという話というのは、私が町長になった段階からそういう話があったんです。

一つは道の方の計画として、道の資金で豊川町の方に下りる道路を計画出来ないかという話があって、それであれば道の方でやるんだったらやってみてという話はしたんですが。その後の事業内容の中身を見ると、町の方の裏負担もかなり大きいものがあるんで、私はその段階で事業効果、費用対効果の事を考えたら、それは止めるべきだという事で、一切、そこの所で私は手を切っているという風に思いますし、年寄りの人達がそこの所をこう上がって行く事については大変だと。私にも大変ですから。でも私は車を運転していく事になっておりますけど。

ある意味ではイベント等あった段階ではですね、バスの送迎なんかも含めて、今までもそういう事をやっているつもりではありますけれども、そういう事については、意を尽くしていきたいと思っております。

#### (議長)

いいですね。他に質疑希望ありませんので、農業委員会・農林水産課所管の

予算並びに関連議案についての質疑を終わります。